

平成 26 年度第 2 回機械工学教育 FD/ICT 活用研究委員会議事録

I. 日 時:平成 26 年 6 月 2 日(月) 18:00 から 20:30

II. 会 場:私立大学情報教育協会事務局 会議室

III. 出席者:曾我部委員長、田辺委員、角田委員、田中委員、青木委員、高野委員(Skype)
(事務局)井端事務局長、野本職員

IV. 議題概要

1. 機械工学アクティブ・ラーニングについての話題提供について

話題提供として下記の3件の取り組みが検討された。

- (1) 大学3年生後期で実施している「機械ゼミナール1」の内容について説明がなされた。基本的に設定されたテーマについてのPBLが中心であるが、企業の関連分野で働くOBの方に参画していただき、学生に適宜指導いただく点が特徴である。課題についても説明された。
- (2) 大学2年生で実施している「応用力学」の内容について説明がなされた。座学におけるアクティブラーニングの試みとして事前学習やグループ討議などを取り入れたものであり、ファシリテータの導入などの課題があることが示された。
- (3) 入学前教育「スクーリング」と初年次教育で実施している「精密機械インセンティブ・スタディスキル」について説明がなされた。学科統合型に改善していくための課題などがあるが、学修意欲の向上などに一定の成果があることが紹介された。

2. 機械工学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究の次第について

話題提供の内容を踏まえて、対話集会の開催要項の検討をし、下記に進行が確認された。

- (1) プログラム次第として最初に「開催趣旨説明とこれまでの研究の経緯」(13時30分～13時40分)を委員長に説明していただくことで了承された。
- (2) 続いて「アクティブ・ラーニングの取り組みに関する話題提供」(13時40分～14時30分)として、
 - ① PBLによる企画・実験・設計製作を「企業経験者の相談・助言を取り入れたPBL授業」として芝浦工業大学の取り組み
 - ② アクティブラーニングのための仕組みづくりを「学科統合型の初年次教育の試み」として日本大学の取り組みの2事例を紹介することで了承された。(各15分を予定)
- ③ 申込にあわせて「参加者による話題提供」を募り、採択を委員で検討し、1, 2件の取り組みがあれば紹介いただくことにした。(10分×2を予定)
- (3) その後「意見交換」(14時30分～15時20分)とし、機械工学におけるアクティブラーニングについての質疑を行い、できるだけ多くの意見交換を行う方針で実施することにした。
- (4) 最後に「課題整理とまとめ」(15時20分～15時30分)とし、本対話集会で意見交換されたアクティブラーニングに関する課題の整理と全体のとりまとめをすることで了承された。

4. 今後の予定

8月26日(火)13時30分～15時30分「機械工学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究」を法政大学(市ヶ谷田町校舎)デザイン工学部棟で実施し、その結果を踏まえて今後の方向性を検討することにした。

次回委員会については次年度の開催とした。